



沖縄RESAS チャレンジカップ2024

令和6年9月10日に最終審査会が開催された「沖縄RESASチャレンジカップ2024」は地域経済分析システム（RESAS・リソース）等の利活用の促進を図るとともに、データに基づいた地域課題の解決アイデアを競うコンテストです。地方創生やデータ利活用に関心を持つ地方公共団体職員や学生など、幅広い所属からエントリーがあります。

今年度は、全応募作品15件のうち、一次審査を通過した5チームが最終審査会へ進み、「最優秀作品賞」、「データアナリシス賞」、「アイデア賞」を選出しました。

国際電子ビジネス専門学校「ゴレンジャー」チームの「宮古島を子育てしやすい街に！」は、宮古島での子育て支援パスポートの導入、子育てイベントの実施等のアイデアを提案し、データ活用・政策アイデアが最も優秀だったとして最優秀作品賞に輝きました。

経済産業部では、地方公共団体、企業、教育機関などにおけるRESAS利活用をサポートしており、出前講座なども開催しております。詳しくは、下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

経済産業部 企画振興課
☎098-866-1727

受賞者一覧

	タイトル	所属 / チーム名
最優秀作品賞	宮古島を子育てしやすい街に！	国際電子ビジネス専門学校 / ゴレンジャー
データアナリシス賞	渋滞時間を「ながら時間」に	那覇市役所 / 地方自治体あり方変え隊
アイデア賞	名護市の空き家利活用プロジェクト	国際電子ビジネス専門学校 / 青椒肉絲



最終審査会にてプレゼンを行う学生たち

▶沖縄総合事務局
RESAS 施策ページはこちら



女子中学生と女性技術者交流イベント 『女性技術者と行く！ 建設業しごと・みらい体感ツアー』 を共同開催しました

建設業は少子高齢化の影響で就業者の高齢化や若年者の減少が重なり、担い手確保が課題となっています。特に女性技術者の就業数は低い水準にあります。

そこで沖縄総合事務局開発建設部の女性技術職員と県内の女性技術者で作る「Teamけんせつ美ら小町」との共同開催により、女子中学生が将来の職業選択肢として「建設業」の仕事を知るきっかけとして、県内女子中学生を対象とした現場体験会を8月2日に開催しました。

当日は15組の親子が参加し、沖縄総合事務局インフラDXルームでVR体験や南風原バイパスの工事現場での見学などを実施し、併せて、女性技術者自らの仕事を紹介し、建設業への理解を促しました。

参加者からは「実際に体験して、自分も頑張れば出来そう」、「女性も活躍して、元気にやっていたのがわかってよかった」との感想をいただきました。

今後、建設業での女性技術者の活躍と次代を担う女性技術者の誕生が期待されます。

お問合せ先

開発建設部 技術管理課
☎098-866-1904



ICT建機の見学



インフラDXルームでの女性職員による概要説明